

学科試験の問題及び解答についてのお問い合わせには一切お答えできませんので予めご了承ください。
なお、合否結果は平成 27 年 3 月に発表し、本人に通知いたします。

平成 26 年度 技能検定 ハウスクリーニング職種 学科試験問題

問 1. 厚生労働省の「快適で健康的な住宅に関するガイドライン」の項目として誤りを選びなさい。

1. 住宅の空気環境に関するガイドライン
2. 臭気対策ガイドライン
3. 騒音・振動ガイドライン
4. 気温・室温ガイドライン
5. 照明についてのガイドライン

問 2. 室内環境において厚生労働省が示すホルムアルデヒドの基準値を選びなさい。

1. $0.001 \text{ mg}/\text{m}^3$ (=0.0008ppm)
2. $0.01 \text{ mg}/\text{m}^3$ (=0.008ppm)
3. $0.1 \text{ mg}/\text{m}^3$ (=0.08ppm)
4. $1 \text{ mg}/\text{m}^3$ (=0.8ppm)
5. $10 \text{ mg}/\text{m}^3$ (=8ppm)

問 3. WHO が有機化合物の沸点を基にして定義する VOC (揮発性有機化合物) について、誤りを選びなさい。

1. 沸点 0°C ～ 50 — 100°C の範囲のもの……超揮発性有機化合物 (VVOC)
2. 沸点 50°C ～ 240 — 260°C の範囲のもの……揮発性有機化合物 (VOC)
3. 沸点 240 — 260°C ～ 380 — 400°C の範囲のもの……準揮発性有機化合物 (SVOC)
4. 沸点 380°C 以上のもの……粒子状有機物質 (POM)
5. 沸点 500°C 以上のもの……超粒子状有機物質 (VPOM)

問 4. に入る記述として当てはまるものを選びなさい。

一戸建住宅より集合住宅の方がが高いためニオイがこもりやすい。

1. 安全性
2. 換気性
3. 温度差
4. 耐乾性
5. 気密性

問 5. 住居環境について、に当てはまるものを選びなさい。

結露の被害がしばらく続き、不十分な湿気対策の連鎖現象として、
結露 → カビの発生 → という室内環境衛生上の問題が発生した。

1. ネズミの増殖
2. ゴキブリの増殖
3. ダニの繁殖
4. ハエ、蚊の繁殖
5. 埃の激増

問 6. 物理的防カビ対策で誤りを選びなさい。

1. 水蒸気の発生を抑える。
2. 換気により湿気を排出する。
3. 除湿により絶対湿度を下げる。
4. 温度を上げて相対湿度を下げる。
5. 薬剤を用いてカビの発生を防止する。

問 7. ゴキブリの生態と習性について述べているが、誤りを選びなさい。

1. 繁殖力が強く雑食である。
2. 夜間に行動し、触覚を使って隅の方を歩く。
3. 集合フェロモンという誘導物質が糞の中に含まれ、集団で生活する性質がある。
4. 発育環境は寒冷な場所が最適である。
5. 狭い場所を好む。

問 8. 厚生労働省「給排水設備の維持管理に関するガイドライン」の内容に関する説明で正しい記述を選びなさい。

1. 危険または有害な物質を排水管に流しても良いが、P R T R法に基づききちんと管理報告する。
2. 衛生器具類の排水口の目皿及びトラップ、台所流しのゴミかご、洗髪洗面器の毛髪粗集かごなどは、使用頻度が高いため不具合が出てからの対応が好ましい。
3. 衛生器具・排水管等の洗浄剤は効果的に使用する。便器等の掃除に用いられる酸性の洗浄剤は、塩素系製剤（漂白剤やカビとり剤）と併用すると良い。
4. 酸性の洗浄剤や、塩素系製剤（漂白剤やカビとり剤）は原液のまま使用して排水しても、下水処理施設で薄められるので問題は無い。
5. 台所流し・排水管等の掃除に用いられるアルカリ性洗浄剤は使用に伴い熱を発生することがあるので、火傷しないように適切に使用する。

問 9. に入る記述として、当てはまる語句を選びなさい。

計で測定された数値をレベルといい、単位としてデシベル(A) またはホーンを用いる。

1. 音
2. 周波数
3. 音色
4. 振動
5. 騒音

問 10. 汚れについての記述で、誤りを選びなさい。

1. 住まいで発生する汚れの発生原因は「自然的要因」と「人為的要因」の2つに大別される。
2. 人為的要因の汚れは、人が生活する上で発生する様々な汚れであり、台所の油污れや浴室の石鹸カスなどがある。
3. 食用油による汚れは油脂性物質のため、水だけでは除去できないので、洗剤を使用し除去する。
4. コーヒーやお茶による汚れは水溶性物質のため、汚れてから時間の経過に関係なく、洗剤を使用せず水だけで除去可能である。
5. ガスコンロに付着する焦げ付き汚れは、洗剤だけでは容易に除去することができないので、ヘラなどで削り取る等の物理的作業との併用が必要となる。

問 1 1. 汚れの性質と除去方法に関する説明として正しい記述を選びなさい。

1. 油脂性物質の汚れには、食用油や肉・魚等の油脂、クレヨンや口紅等によるものがあり、これらは水だけで除去できるものがほとんどである。
2. 固着物の汚れには、ガムのかみかすやガスコンロに付着する焦げ付き等によるものがあり、洗剤は不要で「ヘラなどで削り取る」等の物理的作業で除去される。
3. 粉状物質には、衣類から発生する綿ホコリ、外から風などで持ち込まれる土ホコリ、花粉などがある。研磨、漬け置きや漂白等の作業により、比較的容易に除去ができる。
4. 泥汚れ、コーヒー、お茶等の水溶性物質の汚れには、時間が経つと水溶性でなくなるものもあり、中には漂白をしないと除去できないものもあるので、早めに除去する必要がある。
5. 水溶性物質の汚れには、泥汚れ、コーヒー、お茶等によるものがあり、これらは水に溶解または分散しやすいため、炭化水素系溶剤などで比較的容易に除去される。

問 1 2. 汚れの除去方法で、正しい記述を選びなさい。

1. 床に落ちているホコリや髪の毛を中性洗剤で洗浄し除去する。
2. プラスチック素材の表面に静電気で吸い付いているホコリを水や帯電剤を含んだタオルで拭き取り除去する。
3. ガムやアメなどが床にべたついた状態で付着したものを弱アルカリ性洗剤とタオルで除去する。
4. 蛇口のメッキに付着した水垢汚れを材質に影響のない研磨剤で削り取り除去する。
5. 金属面のサビ汚れは、酸性洗剤で洗浄し除去する。

問 1 3. 洗剤の使用において、不適正な記述を選びなさい。

1. 用途や目的にあった洗剤を選択して使用する。
2. 洗浄効果を高めるために、洗剤を組み合わせる使用する。
3. 指定された希釈倍率（希釈濃度）を守り使用する。
4. 材質への影響（変色、脱色、等）を考慮し、目立たない場所で確認してから使用する。
5. 洗剤を使用する際は、ゴム手袋を着用する。

問 1 4. 「家庭用品品質表示法」における石鹼、洗剤（合成洗剤）、洗浄剤の分類について、正しい記述を選びなさい。

1. 洗浄の主たる作用が界面活性剤によるものは“洗浄剤”に分類される。
2. 洗浄の主たる作用が界面活性剤によるものは“洗剤（合成洗剤）”に分類されるが、“石鹼”は分類されない。
3. 洗剤（合成洗剤）は、洗浄の主たる作用が高級脂肪酸のアルカリ塩を界面活性剤として配合しているものである。
4. 洗浄の主たる作用が塩酸の化学作用による酸性トイレクリーナーは“洗浄剤”に分類される。
5. 洗浄の主たる作用が次亜塩素酸ナトリウムの化学作用によるカビ取り剤は“洗剤（合成洗剤）”に分類される。

問 1 5. 洗剤成分である界面活性剤が持っている次の作用を選びなさい。

水と油は混ざらないが、界面活性剤を入れてかくはんすると、油の粒子が小粒子となって液中に分散する作用。

1. 表面（界面）張力の低下作用
2. 浸透作用
3. 乳化作用
4. ミセル形成作用
5. 起泡作用

問 1 6. 陽イオン界面活性剤（カチオン界面活性剤）について記述しているものを選びなさい。

1. 水溶液中でイオンに解離し、この時マイナスイオンの部分が界面活性剤の働きをする。カーペット洗剤に使用されるアルキル硫酸エステル塩などがある。
2. 水溶液中でイオンに解離し、この時プラスイオンの部分が界面活性剤の働きをする。洗浄力はさほどないが、殺菌剤、帯電防止剤、繊維用柔軟剤などの用途に用いられる。
3. 水溶液中でイオンに解離し、この時プラスイオンの部分が界面活性剤の働きをする。洗浄力が高く、台所用洗剤、洗濯用洗剤などに用いられる。
4. 同一分子内にマイナスイオンとプラスイオンに解離する部分を持っている。洗浄剤、殺菌剤、帯電防止剤などに用いられる。
5. 水溶液中でイオンに解離しないエチレンオキサイドや水酸基を持っている。洗浄力に優れるものがあり、床用洗剤などに用いられている。

問17. 洗剤の液性（pH）についての記述で正しいものを選びなさい。

1. 洗剤のpHは、洗剤液中の「水酸化物イオン濃度」を表したものである。
2. 洗剤のpHは、水溶液中の「水素イオン濃度」を表したものである。
3. pHの示す値で、7は中性、7より数値が低くなるとアルカリ性、7より数値が高くなると酸性となる。
4. pHが11以下8を超えるものは弱酸性洗剤である。
5. pHが3未満のものはアルカリ性洗剤である。

問18. アルカリ性洗剤の成分として使用されることのある「アルカリ剤」を選びなさい。

1. 塩酸
2. 水酸化ナトリウム
3. エチルアルコール
4. 次亜塩素酸ナトリウム
5. アミラーゼ

問19. 中性洗剤に関する説明で正しい記述を選びなさい。

1. pH8.0～。通常の汚れの除去に対応する。使用後はすすぎを十分に行う必要がある。白木やアルミニウムへの使用は注意が必要である。
2. pH6.0以下。便器のし尿汚れ、鉄分による水アカ等のしつこい汚れに対応。使用時は手袋必須。塩素系漂白剤との併用は避ける。
3. pH6.0～7.0。作用がマイルドであるため多様な材質に対して使用できる。ひどい汚れに対しては洗浄力がやや弱い。
4. pH9.0～11.0。浴槽・浴室の床、壁、イス、洗面器などの石鹸カスや湯垢の除去に使用する。塗装面や大理石などの石材は傷めてしまうので使用を避ける。
5. pH10.0～。浴室の衛生陶器やタイル目地に発生したカビの除去に使用する。使用する際はマスク、保護メガネを付け、換気に注意する。

問20. 洗剤成分である漂白剤の性質で誤りを選びなさい。

1. 漂白剤には、酸化型と還元型がある。
2. 漂白剤の酸化型には、塩素系と酸素系のものがある。
3. 漂白剤の分類では、次亜塩素酸ナトリウム（次亜塩素酸ソーダ）は、酸化型の酸素系に属する。
4. 次亜塩素酸ナトリウム（次亜塩素酸ソーダ）は、漂白効果に加え殺菌効果がある。
5. 還元型の漂白剤は、鉄サビ等、酸化によって出来た汚れを還元し除去する。

問2 1. 研磨剤（クレンザー）についての説明として正しい記述を選びなさい。

1. 家庭用品品質表示では研磨剤が80%以上含まれているものをクレンザーという。
2. クレンザーは、クリーム状（液状）、粉末状、固体状、大粒状の4つに分類される。
3. 炭酸カルシウムを主成分とするクレンザーは粒子が柔らかく、基材に傷が付きにくい。
4. 最近主流の液体タイプのクレンザーは、硬度の高い珪酸アルミニウムが主成分だが、粒子が極めて大きいため、良く落ちるが基材を傷付けやすい。
5. 浴室の石けんカスや水垢で、浴室用洗剤では汚れが落ちない場合は、クレンザーで除去する。FRPなど浴槽に使用される材質は、クレンザーでは傷が付かないので効果的に使用できる。

問2 2. 重曹の特性についての説明で誤りを選びなさい。

1. キッチンのしつこい汚れ落としに最適であり、風呂場の洗浄、消臭にも適している。
2. 磨き粉（研磨剤）として汚れを擦り落とす働きがある。
3. 水に少し溶け、2%水溶液はpH8.2のごく弱いアルカリ性を示す。そのため、酸性の汚れを中和する性質がある。
4. アルミニウムに使用すると黒ずむので使用してはならない。
5. 酸性物質であるので弱アルカリ性物質と同時に使用してはならない。

問2 3. 塩ビ系床材のメンテナンス性質について、 に当てはまるものを選びなさい。

は、樹脂ワックスの密着性に劣り、また弾力性が高く歩行など外部からの衝撃により床材が変形しやすいため、樹脂ワックス被膜が厚くなり過ぎると、樹脂ワックス皮膜の割れや剥がれが生じる場合がある。

1. ホモジニアスビニル床タイル
2. コンポジションビニル床タイル
3. 長尺塩ビシート
4. インレイドシート
5. クッションフロア

問24. 樹脂ワックスを塗り重ねる際に、仕上がり不良として発生することのある「艶ボケ現象」について、誤りを選びなさい。

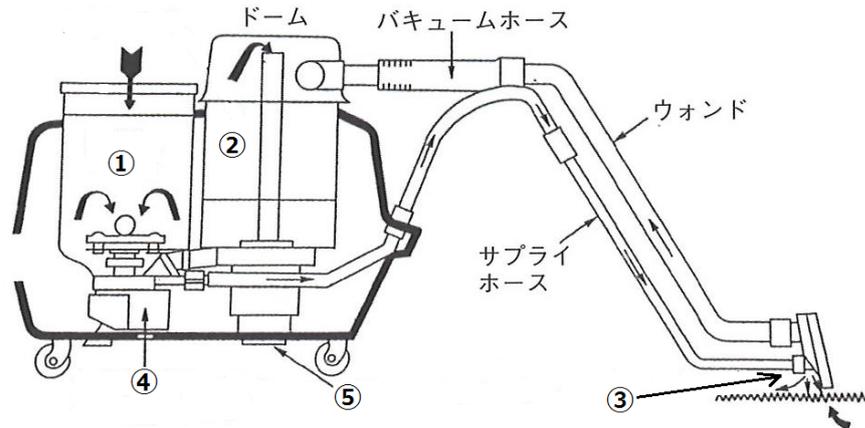
1. 樹脂ワックスの乾燥が不十分な状態で、その上に樹脂ワックスを塗り重ねてしまった場合に多くおこることがある。
2. 室内の湿度が高い時に樹脂ワックスを塗布すると乾燥が遅くなるため、十分な乾燥時間を置かないと起きることがある。
3. 室内の湿度が低い時でも室内温度が低い時は、樹脂ワックスの乾燥が遅くなるため、十分な乾燥時間を置かないと起きることがある。
4. 室内の湿度が高くても、ワックス塗布直後に送風機で強制的に乾燥させれば、起きにくい。
5. 樹脂ワックスを厚く塗り過ぎた場合も、乾燥時間によっては起きることがある。

問25. に入る記述として、当てはまるものを選びなさい。

は、ボイラーで暖めた水蒸気をノズル先端から吐出し汚れ落とし、殺菌、消毒、臭いの除去に効果を発揮する。

1. スチーム洗浄機
2. 床みがき機
3. カーペット洗浄機
4. 噴霧器
5. コンプレッサー

問26. エキストラクター洗浄機の下図の断面図について、各部の番号に該当する名称で当てはまる組み合わせを選びなさい。



- | | | | | |
|-----------|--------|-----------|----------|------------|
| 1. ①洗浄液 | ②回収タンク | ③ジェットノズル | ④洗剤液モーター | ⑤バキュームモーター |
| 2. ①水 | ②洗浄液 | ③ウェットノズル | ④攪拌機 | ⑤モータ床板 |
| 3. ①回収タンク | ②洗浄液 | ③バキュームノズル | ④安全止機 | ⑤射出モーター |
| 4. ①止水弁 | ②洗剤タンク | ③射出機 | ④主制御板 | ⑤排気モーター |
| 5. ①圧力タンク | ②真空層 | ③噴霧器 | ④モータ床板 | ⑤回生モーター |

問27. 埃を除去するために用いる資機材として最も適していないものを選びなさい。

1. 化繊製パッド
2. 半濡き状態のタオル
3. 水分を含ませたおがくず
4. ダストクロス
5. 超極細繊維のクロス

問28. に入る記述として、当てはまるものを選びなさい。

は、ハウスクリーニングをする場所や、部位の床・壁・家具など水を使用できない場合の除塵に用いる。

1. 養生シート
2. 汚染防止テープ
3. ウエスタオル
4. 養生テープ
5. 化学雑巾

問29. に入る記述として、当てはまるものを選びなさい。

1つのコンセントから使用できる清掃用器具は、最大までの器具に電気を送ることができる。

1. 10A (1000W)
2. 15A (1500W)
3. 20A (2000W)
4. 25A (2500W)
5. 30A (3000W)

問30. 次のカーペットの素材について、に当てはまるものを選びなさい。

のカーペットの特徴として、アルカリ性洗剤により、黄変・風合いの変化等を起こすことがあるため、使用はさげなければならない。また、耐摩耗に劣るため、ブラシクリーニング方式で洗浄する場合は、研磨力の強いブラシの使用は避けなければならない。

1. アクリル
2. ウール
3. ナイロン
4. ポリプロピレン
5. ポリエステル

問31. 次のカーペットクリーニングの方式について、に当てはまるものを選びなさい。

は、洗剤の使用量が少ないため、洗浄後の乾燥時間が短いという利点がある反面、カーペットパイル内部の汚れが除去できないという欠点がある。

1. パウダークリーニング
2. シャンプークリーニング (ポリッシャー方式)
3. ローラーブラシクリーニング (ドライフォーム方式)
4. スチームクリーニング
5. 綿パッドクリーニング

問32. カーペットの清掃について、正しい記述を選びなさい。

1. ウール繊維のカーペットであったが、油汚れがひどかったため、油脂汚れ用アルカリ性洗剤を使用した。
2. 油汚れがひどかったが、ウール繊維のカーペットであったため、中性のカーペット洗剤を使用した。
3. コーヒーのシミ汚れを落とすために油性シミ取り剤を使用した。
4. ワインのシミ汚れを落とすために塩素系漂白剤を使用した。
5. カビのシミ汚れを落とすために塩素系カビ取り剤を使用した。

問33. 加工されているカーペットの繊維素材を判別するには、主な鑑別法として燃焼法があるが、繊維素材の燃え方で正しいものはどれか選びなさい。

1. ウール：収縮・溶解しながら徐々に燃える。
2. レーヨン：ちぢれながら、くすぶるように、ゆっくりと燃える。
3. ナイロン：引火しやすくパッと紙のように早く燃える。
4. アクリル：収縮・溶解しながら弱い炎を放って燃える。
5. ポリプロピレン：収縮・溶解しながら徐々に燃え、炎を離しても燃え続けない。

問34. 次のフローリングについての記述で、に当てはまるものを選びなさい。

一般住宅に使用される複合フローリングの傾向として、のフローリングが増えている。のフローリングは、塗装表面が硬く傷が付きにくい反面、樹脂ワックスが密着しにくくなっており、特に水の介在による剥がれが起きやすい。

そのため、のフローリングに適合した樹脂ワックスを選定しなければならない。

1. 加熱硬化型塗装
2. UV塗装
3. オイルステイン塗装
4. 植物オイル系塗装
5. 2液硬化型塗装

問35. リノリウム床について、誤りの記述を選びなさい。

1. リノリウムは、アルカリ性の洗剤類によって変色しやすい床材である。特に、強アルカリ性のハクリ剤によって変色することがある。
2. リノリウムにワックスを使用する際は、ハクリ性に優れた樹脂ワックスを選定し、ハクリ作業の際は、中性ハクリ剤を使用する。
3. リノリウムは抗菌性を有しているが、樹脂ワックスを塗布するとリノリウム自身の抗菌性は大きく低下する。
4. リノリウムは、ビニル床シートと比べ耐摩耗性に劣る。
5. リノリウムは摩耗に強いいため、ハクリ作業の際に研磨力の強いパッドを使用しても影響ない。

問36. 一般的に床仕上げ材に求められる要件のうち、にあてはまるもので正しい組み合わせを選びなさい。

浴室やキッチン、洗面所などの水廻り部分ではが無く、かつ耐水性がある。冬季は床下から寒気がくるため、があり、暖房効果が高い材質が良い。転倒事故防止のため、で歩きやすく、滑りにくい材質が求められる。

1. (ア) 吸水性 (イ) 断熱性 (ウ) 軟質
2. (ア) 撥水性 (イ) 通気性 (ウ) 堅質
3. (ア) 吸気性 (イ) 気密性 (ウ) 硬質
4. (ア) 通気性 (イ) 硬質性 (ウ) 軽質
5. (ア) 気密性 (イ) 遮断性 (ウ) 重質

問37. 次の床材についての記述で、に当てはまるものを選びなさい。

は、種石となる天然石の碎石と顔料などを、セメントや樹脂（レジン）などのバインダーで固め、硬化後表面を研ぎ出した石材。人造大理石とも呼ばれ、大理石同様に耐酸性に劣る性質がある。

1. テラゾー
2. ライムストーン
3. モルタル
4. クリンカータイル
5. セラミックタイル

問38. 住宅用壁材についての説明で、クロス張りに関する記述として誤りを選びなさい。

1. 紙系は、パルプや再生パルプなど紙系の原料を素材とし、プリントやエンボスなどの加工を施した壁紙をいう。
2. 繊維系は、綿、麻、レーヨンなどセルロース系の天然、再生繊維、或いはアクリル繊維などの化学繊維を主な素材とする壁紙をいう。
3. プラスチック系は、プラスチックを主な原料とする壁紙、または、表面加工層にプラスチックを20 g/m²以下使用している壁紙をいう。
4. 無機質系は、無機質紙、無機質骨材、ガラス繊維、金属などの無機質材を主素材とする壁紙をいう。
5. その他0.2mm程度の木板に裏打ち紙を張った木質系壁紙やケイ藻土などの自然素材を用いた壁紙などがある。

問39. 天井仕上げ材のビニルクロスについて にあてはまるもので正しい組み合わせを選びなさい。

現在、その大部分を占めるのが (ア) を主原料としたビニル系シートで、耐水性があるため汚れても清掃しやすい、接着剤との反応による色むらなどが出にくい、安価で施工が容易であるなどの優れた特性がある。クリーニングの方法としては、除塵後、 (イ) を用い、水拭き用タオルで汚れを除去する。

1. (ア) ポリ酢酸ビニル樹脂 (イ) 漂白剤
2. (ア) 塩化ビニル樹脂 (イ) 弱アルカリ性洗剤
3. (ア) 合成繊維 (イ) 油脂用洗剤
4. (ア) 合成硬化クラフト紙 (イ) クリームクレンザー
5. (ア) ビニルエステル樹脂 (イ) 壁用アルカリ性洗剤

問40. 台所のシンク（ステンレス流し台）における洗浄について誤りを選びなさい。

1. シンクに油汚れが見られたため、油脂汚れ用アルカリ性洗剤を使用した。
2. シンクに油汚れの他に水垢汚れも見られたが、軽度であったため油脂汚れ用アルカリ性洗剤を使用した。
3. シンクに付いた水垢汚れがひどかったため、クレンザーを使用した。
4. シンクにサビが見られたが軽度であったため、酸性洗剤を使用した。
5. シンクにサビが見られたため、研磨剤配合の金属用のサビ除去剤を使用した。

問4 1. ガスコンロについて、正しい記述を選びなさい。

1. 付着した油汚れは、酸性洗剤を使用し、除去する。
2. 焦げ付き汚れは、油脂汚れ用のアルカリ性洗剤を使用すれば容易に除去できる。
3. かさ高状の焦げ付き汚れは除去しにくいいため、材質を傷めても汚れを落とすことを優先し、強い研磨力のものを使用する。
4. 錆も軽度であればクレンザーで除去できるが、ひどいものは漂白剤を使用すると効果的に除去できる。
5. グリル排気口カバーや五徳などガスコンロの部品で容易に取り外せる部品は、アルカリ性洗剤に付け置き洗いをを行うと、汚れを効果的に落とせる。

問4 2. に入る記述として、当てはまるものを選びなさい。

浴室内の汚れの成分で最も重量比が高いのは、である。

1. 脂肪酸カルシウム
2. たんぱく質
3. 遊離脂肪酸
4. 脂質
5. 煤煙

問4 3. トイレの清掃について、誤りの記述を選びなさい。

1. 便器に付着した尿石汚れを落とすのに酸性トイレクリーナーを使用した。
2. 便器に付着した水垢汚れを落とすのに酸性トイレクリーナーを使用した。
3. 便器に付着した水垢汚れを落とすのに酸性トイレクリーナーを使用した。完全に落ちなかったため、用途に合ったクレンザーを使用した。
4. 便座に付着した皮脂汚れを落とすために中性洗剤を使用した。
5. 便座に付着した皮脂汚れを落とすために酸性トイレクリーナーを使用した。

問4 4. ブラインドのクリーニングについて、にあてはまるものを選びなさい。

ブラインド（ベネシアン）はの角度を変えることにより光や風の調整、視界の調整を行う。クリーニング時はの折れ曲がりを十分注意し、を閉じた状態で除塵した方がよい。

1. フラップ
2. スラット
3. ウイング
4. ラダー
5. スリップ

問45. お客様の満足度に関する記述について、誤りを選びなさい。

1. お客様を満足させる服装・身だしなみについては自然で清潔なユニフォームの着用でよい。
2. 作業指示が特にない部屋を作業しておくとお客様満足につながる。
3. お客様を満足させるマナーは生まれつき備わっているものではなく、日頃からの自己研鑽で身につくものである。
4. お客様満足度のポイントは不満や要望を把握し改善の手をうつことである。
5. お客様の立場に立って行動することがお客様の満足度につながる。

問46. 労働災害発生の仕組みの説明として□□□□にあてはまるもので正しい組み合わせを選びなさい。

実際に発生した労働災害の原因をたどると、一般的には「□□(ア) (不安全状態)」と「□□(イ) (不安全行動)」という欠陥(直接原因)があり、さらにこれらの欠陥があつて、それが事故に結びつくに至った作業現場内における「安全衛生管理上の欠陥」(間接原因)がある。労働災害は□□(ア)と□□(イ)の絡み合いにより発生した事例が多い。

1. (ア) 物的要因 (イ) 人的要因
2. (ア) 状況要因 (イ) 行動要因
3. (ア) 物的要因 (イ) 不安要因
4. (ア) 不安要因 (イ) 不完全要因
5. (ア) 危険要因 (イ) 不正要因

問47. 安全の確保と整理整頓に関する説明として、正しい記述を選びなさい。

1. 転倒、転落の防止対策として、脚立上や狭い階段、通路等における作業は、基本的に行わないことが必要となる。
2. 清掃用機器の安全対策については、必要電気容量や感電などに注意して安全な作業工程を確認して作業を行う。1つのコンセントからは2000Wの機器まで使用できる。
3. 使用する洗剤・溶剤等の安全対策は、その危険性を作業従事者に対し事前に安全教育を行う必要があり、応急手当の方法や、怪我に対しての救急手当の教育が必要である。
4. 作業場の整理、整頓を行えば、汚れの拡大を防止する養生がいらぬという利点がある。
5. 作業場の整理、整頓は、作業従事者の作業効率向上に対してのみ有効である。

問48. 厚生労働省「労働安全衛生マネジメントシステムに関する指針」について正しい記述を選びなさい。

1. ILO（国際労働機関）によるガイドラインなどの動向をわが国に取り入れたもので、事業者の講ずべき具体的な措置として法律で厳しく義務化されている。
2. 内容の中核であるリスクアセスメントとは、過去におけるリスクの調査を行うことであり、労働災害の防止に直結する具体的で有効な手法とはいえない。
3. 安全衛生目標の設定、安全衛生計画の作成、実施等の多くはリスクアセスメントに基づいて行われる。
4. リスクアセスメントの実施に際しては、あらかじめ「労働者」の意見だけを聴けば良く、機械設備等のリスク情報、ヒヤリハット事例や災害事例などを調べておく必要性は無い。
5. 事業場における安全衛生管理についての、P（Practice、練習）、D（Do、実施）、C（Check、評価）及びA（Arrange、整理）の「PDCAサイクル」という連続した一連の自主的活動を継続して実施することを求めている。

問49. 場所別の作業計画を立てる際、標準的な実施手順を選びなさい。

1. 「キッチン」→「リビング」→「廊下」→「トイレ」→「玄関」
2. 「キッチン」→「リビング」→「廊下」→「玄関」→「トイレ」
3. 「バスルーム」→「キッチン」→「リビング」→「玄関」→「廊下」
4. 「トイレ」→「バスルーム」→「リビング」→「廊下」→「玄関」
5. 「トイレ」→「廊下」→「キッチン」→「リビング」→「玄関」

問50. 次の作業計画の作成に関する記述について、に当てはまるものを選びなさい。

作業人員を決定するためには、作業量の概算見積りとを予め知ることが必要となる。

一般的に対象面積を見積り、で割れば必要な作業人員を推定できる。

1. 標準作業時間
2. 主体作業時間
3. 標準作業率
4. 標準作業量
5. 標準作業回数

学科試験の問題及び解答についてのお問い合わせには一切お答えできませんので予めご了承ください。
 なお、合否結果は平成 27 年 3 月に発表し、本人に通知いたします。

平成 26 年度 技能検定 ハウスクリーニング職種 学科試験解答

問題	解答	問題	解答	問題	解答	問題	解答	問題	解答
問 1	4	問 1 1	4	問 2 1	3	問 3 1	5	問 4 1	5
問 2	3	問 1 2	4	問 2 2	5	問 3 2	2	問 4 2	1
問 3	5	問 1 3	2	問 2 3	5	問 3 3	4	問 4 3	5
問 4	5	問 1 4	4	問 2 4	4	問 3 4	2	問 4 4	2
問 5	3	問 1 5	3	問 2 5	1	問 3 5	5	問 4 5	2
問 6	5	問 1 6	2	問 2 6	1	問 3 6	1	問 4 6	1
問 7	4	問 1 7	2	問 2 7	1	問 3 7	1	問 4 7	3
問 8	5	問 1 8	2	問 2 8	5	問 3 8	3	問 4 8	3
問 9	5	問 1 9	3	問 2 9	2	問 3 9	2	問 4 9	1
問 10	4	問 2 0	3	問 3 0	2	問 4 0	4	問 5 0	4